

流通センター「スコア」

流通各社が高い評価

「客観的採用基準になる」

不動産流通推進センターが実施している実務検定「スコア」に対し、大手流通各社から「人材採用の基準になる」などの高い評価が寄せられている。具体的なコメントは以下の通り。

「中途採用の際にはスコア600点以上の人材に大いに注目する」（三井不動産リア

ルティ）。「スコア600点以上なら、中途採用の際に大きな評価に値する」（東急リアル）。

「自身の現在の知識レベルの再確認と、更なるスキルアップに有効活用できると思う」（住友不動産販売）。「スコア600点を一定の目安に社員を評価していき

たい（東京建物不動産販売）。「600点以上を目指して、社内一丸となって人材育成に取り組む」（三菱地所ハウスネット）。「研修の達成度や、社員の実力を測るのに非常に効果的だ」（住友林業ホームサービス）。同検定は1000点満点だが各社それぞれ「600点以上を目安」としているのも興味深い。

第3回「スコア」の成績上位10名を特待生に認定し、同センターの講座を無料で受講できる特典を与える。第3回検定の申し込みは6月10日まで。

「スコア」は不動産流通業務担当者の実力をほめる業界横断的なモノサシとなることを目指して設立された。毎年6月と11月に実施されていて、全国どこでも受検可能なweb検定。

出題範囲は、メインが重要事項説明・取引の安全確保。準メインが価格査定・建築・

不動産に関する税金・借地借家・相続。周辺科目として競売・不動産の信託・不動産の証券化・海外不動産などが用意されている。

受検終了後は、直ちにスコアと科目別の正答率を表示。自身の強み、弱みが分かり今後の学習方針が立てやすい。

大手企業が高い評価を示し始めたことで、業界共通の検定制度になれるか、今後が注目される。

問い合わせは不動産流通推進センター。電話03（5843）2078。

流通大手600点以上に注目

不動産流通推進センター6月に実務検定スコア

不動産流通推進センターが運営している「不動産流通実務検定スコア」(http://www.retpc.jp/score-kentai/)は6月10日まで第3回検定の申し込みを受け付けている。検定は同月20、22日に実施する。受験料は3000円(税込み)。

出題は重要事項説明・取引の安全確保をメインとし、それに準じて価格査定・建築・不動産に関する税金・借地借家・相続の問題を出す。競売・不動産の信託・不動産の証券化・海外不動産なども範囲となる。

同検定は1000点満

点の得点と8科目の科目別正答率でいまの実務能力を判断できる。推進センターは、業界各社から評価を受けているとい

い「スコア600点以上の人材に注目している」(三井不動産リアルティ)や「600点以上は中途採用の大きな評価に値する」など一様に流通大手が評価している。

第3回検定から全国順位が分かるようになったことの特待生制度を開始する。上位スコア10人を特待生に認定し、同センター講座を無料で受講できる特典を付ける。

問い合わせ先は、不動産流通推進センター「不動産流通実務検定係」まで。電話03・5843・2078

◎推進センター実務検定、採用や評価に活用

不動産流通推進センターの不動産流通実務検定「スコア」に関し、不動産流通各社が採用や、人事評価に活かす動きが広まりつつある。第3回目となる検定実施を前に、実務能力を測る判断指標として認知度が高まってきた。

三井不動産リアルティは「中途採用の際にはスコア600点以上の人材に大いに注目する」、東急リアルティは「600点以上の方は中途採用の際に大きな評価に値する」。また、東京建物不動産販売は「600点以上を一定の目安に社員を評価していきたい」、三菱地所ハウスネットは「600点以上を目指して、社内一丸となって人材育成に取り組む」とし、600点が1つの基準として意識されている。さらに、住友不動産販売は「自身の現在の知識レベルの再確認と、さらなるスキルアップに有効活用できる」と評価。住友林業ホームサービスも「研修の達成度や社員の實力を測るのに非常に効果的」としている。

スコアの第3回検定は、10日まで受験申込を受け付ける。検定実施は20、22日で1000点満点。受験料は3000円(税込)。